

一般診断法
補強計画 1

耐震診断（一般診断法）

建物名 ○○様邸

1. 総合評価
2. 上部構造評点
3. 壁の耐力明細表
4. 開口壁の耐力明細表（有開口壁長による計算のみ）
- ~~5. 柱保有耐力明細表 （伝統的構法のみ）~~
6. 偏心率計算表
7. 偏心率計算表（明細）
8. 劣化度による低減係数 算定表

一般診断法平面図

一般診断法平面図（壁材種表示）

注意事項

- 本ソフトウェアは、一般財団法人日本建築防災協会発行の2012年改訂版「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に準拠した結果を出力しています。
- 2012年改訂版「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法は、耐震補強等の必要性の判定を目的としています。一般診断法において、補強が必要と判定された場合は、さらに精密診断法による判定を実施し、補強の要否の最終的な診断を行って下さい。
- 2012年改訂版「木造住宅の耐震診断と補強方法」では診断の対象とする地震を、建物がその耐用年数の間にごくまれに遭遇するかもしれない大地震動としています。
- 地震被害想定3次元CGは、“一般診断法”による評点を用いて住宅の耐震性能を表現しておりますが、実際の地震に遭遇したときの倒壊状況を正確に表現しているわけではありません。このため、地震被害想定3次元CGでは結果が過大に表現される場合があります。
- 実際の倒壊の可能性及び、補強の必要性の判断については、この結果のみで判断するのではなく、“精密診断法”の診断結果を元に、総合的な判断を行なうことを推奨します。
- 本ソフトウェアの診断結果に問題がなくても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

一般診断法
補強計画 1

1. 総合評価

建物概要

調査日		診断者	
建物名称	〇〇様邸	備考	
建築地		多雪区域区分	一般 係数 0
建物用途	住宅	地震地域係数Z	1.00 係数 1.00
竣工年月(築年数)	1990年1月(平成2年)(築10年以上)	短辺長さ	1階: 4~6m 2階: 4~6m
構法	在来軸組構法	混構造割増	木造 係数 1.0
建物重量	軽い建物	軟弱地盤割増	軟弱地盤ではない。 係数 1.0
外壁材種	耐力無	必要耐力割増	1階: 1.00 2階: 1.00
外壁材壁強さ倍率	0.00 (kN/m)	基礎形式	I 健全な鉄筋コンクリート基礎
2階床面積	52.18㎡ (15.78坪)	柱頭柱脚接合部	I 平成12年建設省告示1460号に適合
1階床面積	71.06㎡ (21.50坪)	木製筋かい接合部	所定の金物
階高	1階: 2900mm 2階: 2800mm	床仕様	II 火打ち+荒板
有開口壁の耐力計算方法	有開口壁長による算定	必要耐力計算方法	各階の床面積比を考慮した方法
		配置低減計算方法	偏心率を使用した方法

地盤・地形・基礎形式

地盤	対策	選択	注意事項
よい・普通		●	
悪い			
非常に悪い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表層の地盤改良を行なっている 杭基礎である 特別な対策を行っていない その他		

地形	対策	選択	注意事項
平坦・普通		●	
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁 石積 特別な対策を行っていない		

基礎形式	対策	選択	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全 ひび割れが生じている	●	
無筋コンクリート基礎	健全 軽微なひび割れが生じている ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固め+鉄筋コンクリート底盤緊結 足固めのみまたは足固め無し		
その他(ブロック基礎等)			

上部構造評点 = 保有耐力 (edQu) / 必要耐力 (Qr)

階	方向	壁の耐力 Qu (kN)	配置 低減係数 eKfl	劣化度 低減係数 dK	保有耐力 edQu ※ (kN)	必要耐力 Qr (kN)	評点 edQu/Qr	グラフ		
								0.7	1.0	1.5
2	X	22.91	1.000	1.00	22.91	20.88	1.09	■		
	Y	22.54	1.000		22.54		1.07	■		
1	X	50.56	1.000	1.00	50.56	49.85	1.01	■		
	Y	52.75	1.000		52.75		1.05	■		

※ edQu = Qu * eKfl * dK



<地震被害想定3次元CG>

総合評価 (建築基準法の想定する大地震動での倒壊の可能性)

上部構造評点のうち最小の値	評点	判定
1.01	1.5以上	◎倒壊しない
	1.0以上~1.5未満	○一応倒壊しない
	0.7以上~1.0未満	△倒壊する可能性がある
	0.7未満	×倒壊する可能性が高い

<その他注意事項>

一般診断法
補強計画 1

2. 上部構造評点

上部構造評点 = 保有耐力 (edQu) / 必要耐力 (Qr)

階	方向	壁の耐力 Qu (kN)	配置低減係数 eKfl	劣化度低減係数 dK	保有耐力 edQu = Qu * eKfl * dK (kN)	必要耐力 Qr (kN)	評点 edQu/Qr	グラフ			判定
								0.7	1.0	1.5	
2	X	22.91	1.000	1.00	22.91	20.88	1.09				○ 一応倒壊しない
	Y	22.54	1.000		22.54		1.07				○ 一応倒壊しない
1	X	50.56	1.000		50.56	49.85	1.01				○ 一応倒壊しない
	Y	52.75	1.000		52.75		1.05				○ 一応倒壊しない

必要耐力 (Qr) (各階の床面積比を考慮した方法)

階	① 床面積 (㎡)	② 床面積あたり必要耐力 (kN/㎡)	③ 積雪用必要耐力	④ 地震地域係数 Z	⑤ 軟弱地盤割増	⑥ 形状割増	⑦ 混構造割増	⑧ 必要耐力割増	必要耐力 Qr (kN)
2	52.18	0.40	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	20.88
1	71.06	0.61				1.15		1.00	49.85

- ①【床面積】 (㎡)
- ②【床面積あたり必要耐力】 (kN/㎡) … 建物の階数別 建物の重さ別 (軽い建物、重い建物、非常に重い建物)
- ③【積雪用必要耐力】 多雪区域では、積雪深により、積雪1mのとき0.26(kN/㎡)、積雪2mのとき0.52(kN/㎡)を加算する。
- ④【地震地域係数Z】 令第88条に規定する地震地域係数(1.00, 0.90, 0.80, 0.70より選択)多くの地域が1.00
- ⑤【軟弱地盤割増】 地盤が著しく軟弱と思われる敷地の場合は、【必要耐力】を1.5倍する。
- ⑥【形状割増】 いずれかの階の短辺の長さが6.0m未満の場合に、その階を除く、下の階の必要耐力を割増する。
- ⑦【混構造割増】 2階建てにおいて、1階部分が鉄骨造または鉄筋コンクリート造の場合は、【必要耐力】を1.2倍する。
- ⑧【必要耐力割増】 診断者の判断により荷重や床面積を割増して考慮するための係数。

保有耐力 (edQu) = 壁の耐力 (Qu) × 配置 (eKfl) × 劣化度 (dK)

階	方向	無開口壁の耐力 Qw (kN)	その他の耐震要素の耐力 Qe (kN)		壁の耐力 Qu = Qw + Qe (kN)
			開口壁の耐力		
2	X	22.91	0.00		22.91
	Y	22.54	0.00		22.54
1	X	50.56	0.00		50.56
	Y	52.75	0.00		52.75

無開口壁の耐力 Qw 「壁基準耐力 Fw」「壁長 L」「柱接合部による低減係数 Kj」の積の総和
… 詳細は、「3. 壁の耐力 Qw 明細表」参照のこと

$Qw = \sum (Fw * L * Kj)$

Fw: 壁基準耐力 (kN/m)

間仕切壁、外壁の仕様別(下地材、筋かい、面材等)の基準耐力。筋かい・壁下地材両面の値の和とする。

いずれかの面の壁仕様が不明(耐力有)の場合、Fwは合計と2.00(kN/m)のうち高い方として計算。

L: 壁長(m) 無開口壁の長さのみ。筋かいにおいては、90cm以上を有効とする。面材においては、60cm以上を有効とする。

Kj: 柱接合部による低減係数(1.0~0.2)

壁端柱の柱頭・柱脚の種類により低減する。(但し、基準耐力、基礎の種類別)

接合部 I … 平12建告1460号に適合する仕様 接合部 II … 羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物

接合部 III … ぼぞ差し、釘打ち、かすがい等(両脇に通し柱) 接合部 IV … ぼぞ差し、釘打ち、かすがい等

基礎仕様による低減 (上記に含む) (基礎 I … 鉄筋布基礎、ベタ基礎 基礎 II … 健全でない基礎 基礎 III … その他)

その他の耐震要素の耐力 Qe

$Qe = \sum (Fw * Lw)$

Fw: 窓型開口の場合 0.6[kN/m] 掃き出し開口の場合 0.3[kN/m]

Lw: 開口壁長[m] ※連続する開口の壁長の上限は3.0m

配置 (eKfl) 耐力要素の配置等による低減係数… 詳細は、「6. 偏心率計算表」を参照のこと

偏心率により配置のバランスを算定し、状況により低減する。床仕様により、さらに低減される場合あり。

通常値 1.0 配置が不適切な場合 0.4~1.0

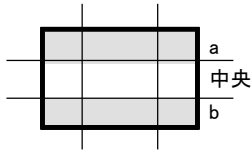
劣化度 (dK) 劣化度による低減係数… 詳細は、「8. 劣化度による低減係数 dK」を参照のこと

劣化の状況により保有耐力を低減する。劣化無し: 1.0 劣化あり: 1.0~0.7 0.7未満となった場合は、0.7とする。

一般診断法
補強計画 1

3. 壁の耐力明細表(1階X方向)

日付:2022年01月21日 9:56:07
建物コード:000000



位置	柱1	柱2	壁の仕様								壁基準耐力 (kN/m) Fw	壁の長さ (m) L	基礎形式	接合部仕様	接合低減係数 Kj	壁の耐力 (kN) Qwi	
			壁面1	基準耐力	軸組	低減係数	基準耐力	土塗り壁等	基準耐力	壁面2							基準耐力
桁行 (a)	1	2	耐力無	0.00	/ 筋かい(30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	2.40	0.91	I	I	*1.00	2.18
	2	3	耐力無	0.00					耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	*1.00	0.00	
	4	5	耐力無	0.00					耐力無	0.00	■0.00	0.91	-	-	-	0.00	
	6	-	耐力無	0.00					耐力無	0.00	▲0.00	0.45	-	-	-	0.00	
	7	8	耐力無	0.00	/ 筋かい(30×90)	1.00	2.40			構造用合板(大)	5.20	7.60	0.91	I	I	*1.00	6.91
	13	14	耐力無	0.00					耐力無	0.00	0.00	0.45	I	I	*1.00	0.00	
	15	16	耐力無	0.00	/ 筋かい(30×90)	1.00	2.40			構造用合板(大)	5.20	7.60	0.91	I	I	1.00	6.91
	16	17	耐力無	0.00					耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	1.00	0.00	
	18	19	耐力無	0.00					耐力無	0.00	■0.00	1.36	-	-	-	0.00	
	19	20	耐力無	0.00					耐力無	0.00	■0.00	1.36	-	-	-	0.00	
桁行(a)耐力 Qwa																16.00	
桁行 (中央)	28	29	耐力無	0.00	/ 筋かい(30×90)	1.00	2.40			構造用合板(大)	5.20	7.60	0.91	I	I	*1.00	6.91
	29	30	構造用合板(大)	5.20					耐力無	0.00	5.20	0.91	I	I	1.00	4.73	
	30	-	耐力無	0.00					耐力無	0.00	▲0.00	0.91	-	-	-	0.00	
	31	32	耐力無	0.00					耐力無	0.00	■0.00	0.91	-	-	-	0.00	
	-	33	耐力無	0.00					耐力無	0.00	▲0.00	0.91	-	-	-	0.00	
	33	34	耐力無	0.00					耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	1.00	0.00	
	34	35	耐力無	0.00					耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	1.00	0.00	
	35	-	耐力無	0.00					耐力無	0.00	△0.00	0.60	-	-	-	0.00	
	-	36	耐力無	0.00					耐力無	0.00	△0.00	0.60	-	-	-	0.00	
	桁行(中央)耐力 Qwc																11.64
桁行 (b)	40	41	構造用合板(大)	5.20					構造用合板(大)	5.20	10.00	0.91	I	I	*1.00	9.10	
	45	46	構造用合板(大)	5.20	/ 筋かい(30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	7.60	0.91	I	I	*1.00	6.91
	47	48	耐力無	0.00					耐力無	0.00	■0.00	0.91	-	-	-	0.00	
	48	49	耐力無	0.00					耐力無	0.00	■0.00	1.13	-	-	-	0.00	
	51	52	耐力無	0.00					耐力無	0.00	0.00	0.22	I	I	1.00	0.00	
	52	53	構造用合板(大)	5.20	/ 筋かい(30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	7.60	0.91	I	I	1.00	6.91
桁行(b)耐力 Qwb																22.92	
1階X方向合計 Qw																50.56	

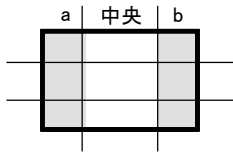
壁の耐力 (kN) $Qwi = Fw \times L \times Kj$ 壁基準耐力 (kN/m) $Fw =$ 壁面1耐力+軸組耐力+土塗り壁耐力+壁面2耐力
 壁の長さ (m) L : 無開口壁のみ 接合低減係数 Kj : 基礎形式と接合部仕様、壁基準耐力により決まります

壁の仕様が網掛けで塗られている材種は壁材種設定により入力者が任意に追加した材種
 壁の仕様が太線で囲まれている材種は補強計画で追加、変更された材種
 壁の仕様に△が付いている面、土塗り壁、筋かいはそれぞれ長さ60cm未満の面、土塗り壁および長さ90cm未満の筋かい (基準耐力は0となる)
 壁の仕様に/が付いている軸組はシングルの筋かい、Xが付いている軸組はダブルの筋かい
 壁の仕様の中の「非」は非耐力壁仕様
 基準耐力に#が付いている材種は基準耐力に補正が掛かっている材種
 壁基準耐力に△が付いている壁は端部に柱がないために耐力0と扱われる壁
 壁基準耐力に▲が付いている壁は開口部との間に柱がない無開口部 (開口部として扱われる)
 壁基準耐力に■が付いている壁は開口部に挟まれた耐力評価できない無開口部 (開口部として扱われる)
 接合低減係数に*が付いている壁は、直上に他階が乗っていないので平屋用の接合低減係数が使用されている壁

一般診断法
補強計画 1

3. 壁の耐力明細表(1階Y方向)

日付:2022年01月21日 9:56:07
建物コード:000000



位置	柱1	柱2	壁の仕様								壁基準耐力 (kN/m) Fw	壁の長さ (m) L	基礎形式	接合部仕様	接合低減係数 Kj	壁の耐力 (kN) Qwi	
			壁面1	基準耐力	軸組	低減係数	基準耐力	土塗り壁等	基準耐力	壁面2							基準耐力
梁間 (a)	28	37	耐力無	0.00	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	2.40	0.91	I	I	*1.00	2.18
	37	40	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	*1.00	0.00
	40	42	耐力無	0.00						構造用合板(大)	5.20	5.20	0.91	I	I	*1.00	4.73
	42	45	耐力無	0.00	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			構造用合板(大)	5.20	7.60	0.91	I	I	*1.00	6.91
	-	15	耐力無	0.00						耐力無	0.00	▲0.00	0.45	-	-	-	0.00
	29	-	耐力無	0.00						耐力無	0.00	▲0.00	0.45	-	-	-	0.00
梁間(a)耐力 Qwa																13.82	
梁間 (中央)	1	9	耐力無	0.00	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	2.40	0.91	I	I	*1.00	2.18
	18	24	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	1.00	0.00
	32	38	構造用合板(大)	5.20	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			構造用合板(大)	5.20	10.00	0.91	I	I	1.00	9.10
	43	48	構造用合板(大)	5.20	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			構造用合板(大)	5.20	10.00	0.91	I	I	1.00	9.10
	19	25	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	1.00	0.00
	-	3	耐力無	0.00						耐力無	0.00	△0.00	0.45	-	-	-	0.00
	20	26	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	1.00	0.00
	5	10	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	*1.00	0.00
	10	21	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	*1.00	0.00
	34	-	耐力無	0.00						耐力無	0.00	△0.00	0.45	-	-	-	0.00
梁間(中央)耐力 Qwc																20.38	
梁間 (b)	6	11	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	*1.00	0.00
	11	22	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	*1.00	0.00
	27	35	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	I	I	1.00	0.00
	8	12	構造用合板(大)	5.20	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	7.60	0.91	I	I	*1.00	6.91
	12	23	構造用合板(大)	5.20						耐力無	0.00	5.20	0.91	I	I	*1.00	4.73
	36	39	耐力無	0.00						耐力無	0.00	■0.00	0.91	-	-	-	0.00
44	53	構造用合板(大)	5.20	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	7.60	0.91	I	I	1.00	6.91	
梁間(b)耐力 Qwb																18.55	

1階Y方向合計 Qw	52.75
------------	-------

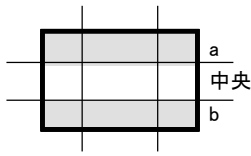
壁の耐力 (kN) $Qwi = Fw \times L \times Kj$ 壁基準耐力 (kN/m) $Fw = \text{壁面1耐力} + \text{軸組耐力} + \text{土塗り壁耐力} + \text{壁面2耐力}$
 壁の長さ (m) L : 無開口壁のみ 接合低減係数 Kj : 基礎形式と接合部仕様、壁基準耐力により決まります

壁の仕様が網掛けで塗られている材種は壁材種設定により入力者が任意に追加した材種
 壁の仕様が太線で囲まれている材種は補強計画で追加、変更された材種
 壁の仕様に△が付いている面、土塗り壁、筋かいはそれぞれ長さ60cm未満の面、土塗り壁および長さ90cm未満の筋かい (基準耐力は0となる)
 壁の仕様に/が付いている軸組はシングルの筋かい、Xが付いている軸組はダブルの筋かい
 壁の仕様の中の「非」は非耐力壁仕様
 基準耐力に■が付いている材種は基準耐力に補正が掛かっている材種
 壁基準耐力に△が付いている壁は端部に柱がないために耐力0と扱われる壁
 壁基準耐力に▲が付いている壁は開口部との間に柱がない無開口部 (開口部として扱われる)
 壁基準耐力に■が付いている壁は開口部に挟まれた耐力評価できない無開口部 (開口部として扱われる)
 接合低減係数に*が付いている壁は、直上に他階が乗っていないので平屋用の接合低減係数が使用されている壁

一般診断法
補強計画 1

3. 壁の耐力明細表(2階X方向)

日付:2022年01月21日 9:56:07
建物コード:000000



位置	柱1	柱2	壁の仕様								壁基準耐力 (kN/m) Fw	壁の長さ (m) L	基礎形式	接合部仕様	接合低減係数 Kj	壁の耐力 (kN) Qwi	
			壁面1	基準耐力	軸組	低減係数	基準耐力	土塗り壁等	基準耐力	壁面2							基準耐力
桁行 (a)	1	2	耐力無	0.00	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			構造用合板(大)	5.20	7.60	0.91	-	I	1.00	6.91
	2	3	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	1.82	-	I	1.00	0.00
	3	4	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	4	5	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	5	6	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	1.82	-	I	1.00	0.00
	-	7	耐力無	0.00						耐力無	0.00	▲0.00	0.45	-	-	-	0.00
	8	9	耐力無	0.00	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			構造用合板(大)	5.20	7.60	0.91	-	I	1.00	6.91
	12	13	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	13	14	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	1.82	-	I	1.00	0.00
	16	17	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
桁行(a)耐力 Qwa																13.82	
桁行 (中央)	18	19	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	-	20	耐力無	0.00						耐力無	0.00	▲0.00	0.91	-	-	-	0.00
	21	22	耐力無	0.00						耐力無	0.00	■0.00	1.82	-	-	-	0.00
	22	-	耐力無	0.00						耐力無	0.00	▲0.00	0.22	-	-	-	0.00
	-	24	耐力無	0.00						耐力無	0.00	▲0.00	0.22	-	-	-	0.00
	24	25	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	1.82	-	I	1.00	0.00
桁行(中央)耐力 Qwc																0.00	
桁行 (b)	34	35	構造用合板(大)	5.20	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	7.60	0.91	-	I	1.00	6.91
	36	37	耐力無	0.00						耐力無	0.00	■0.00	0.91	-	-	-	0.00
	37	38	耐力無	0.00						耐力無	0.00	■0.00	1.13	-	-	-	0.00
	-	40	耐力無	0.00						耐力無	0.00	▲0.00	0.22	-	-	-	0.00
	40	41	耐力無	0.00	/筋かい(30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	2.40	0.91	-	I	1.00	2.18
桁行(b)耐力 Qwb																9.09	

2階X方向合計 Qw	22.91
------------	-------

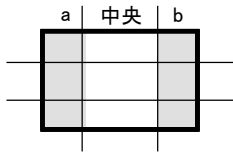
壁の耐力 (kN) $Qwi = Fw \times L \times Kj$ 壁基準耐力 (kN/m) $Fw = \text{壁面1耐力} + \text{軸組耐力} + \text{土塗り壁耐力} + \text{壁面2耐力}$
 壁の長さ (m) L : 無開口壁のみ 接合低減係数 Kj : 基礎形式と接合部仕様、壁基準耐力により決まります

壁の仕様が網掛けで塗られている材種は壁材種設定により入力が任意に追加した材種
 壁の仕様が太線で囲まれている材種は補強計画で追加、変更された材種
 壁の仕様に△が付いている面、土塗り壁、筋かいはそれぞれ長さ60cm未満の面、土塗り壁および長さ90cm未満の筋かい (基準耐力は0となる)
 壁の仕様に/が付いている軸組はシングルの筋かい、Xが付いている軸組はダブルの筋かい
 壁の仕様の中の「非」は非耐力壁仕様
 基準耐力に#が付いている材種は基準耐力に補正が掛かっている材種
 壁基準耐力に△が付いている壁は端部に柱がないために耐力0と扱われる壁
 壁基準耐力に▲が付いている壁は開口部との間に柱がない無開口部 (開口部として扱われる)
 壁基準耐力に■が付いている壁は開口部に挟まれた耐力評価できない無開口部 (開口部として扱われる)
 接合低減係数に*が付いている壁は、直上に他階が乗っていないので平屋用の接合低減係数が使用されている壁

一般診断法
補強計画 1

3. 壁の耐力明細表(2階Y方向)

日付: 2022年01月21日 9:56:07
建物コード: 000000



位置	柱1	柱2	壁の仕様								壁基準耐力 (kN/m) Fw	壁の長さ (m) L	基礎形式	接合部仕様	接合低減係数 Kj	壁の耐力 (kN) Qwi	
			壁面1	基準耐力	軸組	低減係数	基準耐力	土塗り壁等	基準耐力	壁面2							基準耐力
梁間 (a)	1	10	耐力無	0.00	/ 筋かい\ (30×90)	1.00	2.40			構造用合板(大)	5.20	7.60	0.91	-	I	1.00	6.91
	18	28	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	1.36	-	-	-	0.00
	31	-	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.45	-	-	-	0.00
	31	34	耐力無	0.00	/ 筋かい\ (30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	2.40	0.91	-	I	1.00	2.18
梁間(a)耐力 Qwa																9.09	
梁間 (中央)	3	11	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	11	20	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	4	12	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	21	26	耐力無	0.00	/ 筋かい\ (30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	2.40	0.91	-	I	1.00	2.18
	26	32	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	1.82	-	I	1.00	0.00
	32	37	耐力無	0.00	/ 筋かい\ (30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	2.40	0.91	-	I	1.00	2.18
	23	29	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	1.82	-	I	1.00	0.00
	29	39	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	1.82	-	I	1.00	0.00
梁間(中央)耐力 Qwc																4.36	
梁間 (b)	7	15	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	9	17	構造用合板(大)	5.20	/ 筋かい\ (30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	7.60	0.91	-	I	1.00	6.91
	17	25	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	25	27	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
	30	33	耐力無	0.00						耐力無	0.00	0.00	0.91	-	I	1.00	0.00
33	41	耐力無	0.00	/ 筋かい\ (30×90)	1.00	2.40			耐力無	0.00	2.40	0.91	-	I	1.00	2.18	
梁間(b)耐力 Qwb																9.09	

2階Y方向合計 Qw	22.54
------------	-------

壁の耐力 (kN) $Qwi = Fw \times L \times Kj$ 壁基準耐力 (kN/m) $Fw =$ 壁面1耐力+軸組耐力+土塗り壁耐力+壁面2耐力
 壁の長さ (m) L : 無開口壁のみ 接合低減係数 Kj : 基礎形式と接合部仕様、壁基準耐力により決まります

壁の仕様が網掛けで塗られている材種は壁材種設定により入力者が任意に追加した材種
 壁の仕様が太線で囲まれている材種は補強計画で追加、変更された材種
 壁の仕様に△が付いている面、土塗壁、筋かいはそれぞれ長さ60cm未満の面、土塗壁および長さ90cm未満の筋かい (基準耐力は0となる)
 壁の仕様に/が付いている軸組はシングルの筋かい、Xが付いている軸組はダブルの筋かい
 壁の仕様の中の「非」は非耐力壁仕様
 基準耐力に#が付いている材種は基準耐力に補正が掛かっている材種
 壁基準耐力に△が付いている壁は端部に柱がないために耐力0と扱われる壁
 壁基準耐力に▲が付いている壁は開口部との間に柱がない無開口部 (開口部として扱われる)
 壁基準耐力に■が付いている壁は開口部に挟まれた耐力評価できない無開口部 (開口部として扱われる)
 接合低減係数に*が付いている壁は、直上に他階が乗っていないので平屋用の接合低減係数が使用されている壁

3. 壁の耐力明細表(壁材種一覧)

日付:2022年01月21日 9:56:07
建物コード:000000

使用壁材一覧

コード	材種	基準耐力 (kN/m)
103	筋かい(30×90)	2.40
202	構造用合板(大)	5.20
320	耐力無	0.00
422	耐力無	0.00

※ 壁材種設定により入力者が任意に追加した材種は網掛けで塗られて表示。
※ 筋かい耐力壁はシングル値を表示。ダブルの場合はシングルを2倍にした値を適用。

係数表

筋かい接合低減係数表

筋かい金物等	筋かいの要素基準耐力(kN/m)		
	3.0未満	3.0~5.0	5.0以上
①所定の金物	1.0	1.0	1.0
②2.0倍用金物以上	1.0	0.9	0.8
③1.5倍用金物	0.9	0.8	0.7
④釘打ち(2-N75程度)以下	0.8	0.7	0.6

胴縁下地壁 耐力・剛性 修正

大壁で胴縁下地の壁面の修正基準耐力は以下とする。

基準耐力 (kN/m)	修正基準耐力 (kN/m)	
	(1) 胴縁をN75@200以下	(2) (1)の仕様以外
2以下	基準耐力 × 1.0	基準耐力 × 3/4
2超 4以下	基準耐力 × (- $\frac{1}{8}$ × 基準耐力 + 1.25)	1.5
4超	3	

柱頭・柱脚接合部の種類による耐力低減係数

壁基準耐力が表に掲げた数値の間の場合、その上下の壁基準耐力の低減係数から直線補間して算出する

2階建ての2階、3階建ての3階

壁基準耐力 (kN/m)	2.0	3.0	5.0	7.0
接合部の仕様	I	1.0	1.0	1.0
	II	1.0	0.8	0.65
	III	0.7	0.6	0.45
	IV	0.7	0.35	0.25

2階建ての1階、3階建ての1階及び3階建ての2階

壁基準耐力 (kN/m)	2.0			3.0			5.0			7.0			
	基礎の仕様			I	II	III	I	II	III	I	II	III	
接合部の仕様	I	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.8	1.0	0.85	0.7	1.0	0.8	0.6
	II	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.8	0.9	0.8	0.7	0.8	0.7	0.6
	III	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
	IV	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6

3階建ての2階の場合は、基礎の種類にかかわらず基礎仕様 I の欄を使用する

平屋建て(2階建ての下屋部分を含む)

壁基準耐力 (kN/m)	2.0			3.0			5.0			7.0			
基礎の仕様		I	II	III	I	II	III	I	II	III	I	II	III
接合部の仕様	I	1.0	0.85	0.7	1.0	0.85	0.7	1.0	0.8	0.7	1.0	0.8	0.7
	II	1.0	0.85	0.7	0.9	0.75	0.7	0.85	0.7	0.65	0.8	0.7	0.6
	IV	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3

総合重心を求める際の係数表

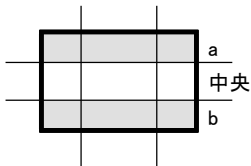
建物の重さ	α	β
軽い建物	2.15	1.43
重い建物	2.60	2.00
非常に重い建物	2.85	3.23

耐力要素の配置による低減係数(偏心率)

床仕様	偏心率				
	Re < 0.15	0.15 ≤ Re < 0.30	0.30 ≤ Re < 0.45	0.45 ≤ Re < 0.60	0.60 ≤ Re
I	1.00	1/(3.33Re+0.5)	(3.3-Re)/(3*(3.33Re+0.5))	(3.3-Re)/6	0.450
II			(2.3-Re)/(2*(3.33Re+0.5))	(2.3-Re)/4	0.425
III			(3.6-2Re)/(3*(3.33Re+0.5))	(3.6-2Re)/6	0.400

4. 開口壁の耐力明細表(1階X方向)

日付: 2022年01月21日 9:56:07
建物コード: 000000



X方向 桁行方向

位置 (桁行)	柱1	柱2	開口種類	壁基準 耐力 (kN/m)	壁の長さ (m)	壁の耐力 (kN)
a	3	4	窓型	× 0.00	▲0.66	0.00
	4	5	無開口	□ × 0.00	▲0.66	0.00
	5	6	窓型	× 0.00	▲0.66	0.00
	6	-	無開口	■ × 0.00	▲0.33	0.00
	-	7	掃き出し	× 0.00	▲0.66	0.00
	17	18	窓型	× 0.00	▲0.50	0.00
	18	19	無開口	□ × 0.00	▲0.75	0.00
	19	20	無開口	□ × 0.00	▲0.75	0.00
	20	21	掃き出し	× 0.00	▲0.50	0.00
	21	22	掃き出し	× 0.00	▲0.50	0.00
合計 Qea						0.00
中央	25	26	掃き出し	× 0.00	1.36	0.00
	-	-	掃き出し	× 0.00	0.91	0.00
	30	-	無開口	■ × 0.00	▲0.60	0.00
	-	31	掃き出し	× 0.00	▲0.60	0.00
	31	32	無開口	□ × 0.00	▲0.60	0.00
	32	-	掃き出し	× 0.00	▲0.60	0.00
	-	33	無開口	■ × 0.00	▲0.60	0.00
合計 Qec						0.00
b	46	47	掃き出し	× 0.00	▲0.97	0.00
	47	48	無開口	□ × 0.00	▲0.32	0.00
	48	49	無開口	□ × 0.00	▲0.40	0.00
	49	50	掃き出し	× 0.00	▲0.64	0.00
	50	51	掃き出し	× 0.00	▲0.64	0.00
合計 Qeb						0.00

【壁基準耐力の記号について】

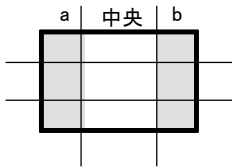
- ▽ : 端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- : 開口壁との間に柱が無い無開口壁 (開口壁として扱われる)
- : 開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁 (開口壁として扱われる)
- ◆ : 掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇ : 耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- × : 壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【壁の長さの記号について】

- ▲ : 開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

1階X方向合計 Qe	0.00
------------	------

Qe = Qea + Qeb + Qec



Y方向 梁間方向

位置 (梁間)	柱1	柱2	開口種類	壁基準 耐力 (kN/m)	壁の長さ (m)	壁の耐力 (kN)
a	-	15	無開口	■ × 0.00	▲ 0.25	0.00
	-	-	掃き出し	× 0.00	▲ 0.50	0.00
	29	-	無開口	■ × 0.00	▲ 0.25	0.00
	29	41	掃き出し	× 0.00	▲ 1.00	0.00
	41	46	掃き出し	× 0.00	▲ 1.00	0.00
合計 Qea						0.00
中央	-	3	無開口	■ × 0.00	0.45	0.00
	-	-	掃き出し	× 0.00	1.36	0.00
	9	18	窓型	× 0.00	0.91	0.00
	38	43	掃き出し	× 0.00	1.82	0.00
合計 Qec						0.00
b	22	27	掃き出し	× 0.00	0.91	0.00
	23	36	窓型	× 0.00	▲ 1.20	0.00
	36	39	無開口	□ × 0.00	▲ 0.60	0.00
	39	44	窓型	× 0.00	▲ 1.20	0.00
合計 Qeb						0.00

【壁基準耐力の記号について】

- ▽ : 端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- : 開口壁との間に柱が無い無開口壁 (開口壁として扱われる)
- : 開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁 (開口壁として扱われる)
- ◆ : 掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇ : 耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- × : 壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【壁の長さの記号について】

- ▲ : 開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

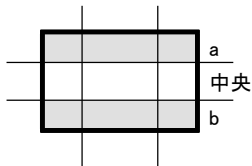
1階Y方向合計 Qe	0.00
------------	------

Qe = Qea + Qeb + Qec

一般診断法
補強計画 1

4. 開口壁の耐力明細表(2階X方向)

日付: 2022年01月21日 9:56:07
建物コード: 000000



X方向 桁行方向

位置 (桁行)	柱1	柱2	開口種類	壁基準 耐力 (kN/m)	壁の長さ (m)	壁の耐力 (kN)
a	6	-	窓型	× 0.00	0.91	0.00
	-	7	無開口	■ × 0.00	0.45	0.00
	7	8	窓型	× 0.00	0.91	0.00
	11	12	掃き出し	× 0.00	0.91	0.00
	15	16	掃き出し	× 0.00	0.91	0.00
合計 Qea						0.00
中央	19	-	掃き出し	× 0.00	▲ 0.40	0.00
	-	20	無開口	■ × 0.00	▲ 0.40	0.00
	20	21	掃き出し	× 0.00	▲ 0.40	0.00
	21	22	無開口	□ × 0.00	▲ 0.80	0.00
	22	-	無開口	■ × 0.00	▲ 0.09	0.00
	-	23	掃き出し	× 0.00	▲ 0.40	0.00
	23	-	掃き出し	× 0.00	▲ 0.40	0.00
	-	24	無開口	■ × 0.00	▲ 0.10	0.00
合計 Qec						0.00
b	35	36	窓型	× 0.00	▲ 0.70	0.00
	36	37	無開口	□ × 0.00	▲ 0.35	0.00
	37	38	無開口	□ × 0.00	▲ 0.44	0.00
	38	39	掃き出し	× 0.00	▲ 0.70	0.00
	39	-	掃き出し	× 0.00	▲ 0.70	0.00
	-	40	無開口	■ × 0.00	▲ 0.08	0.00
合計 Qeb						0.00

【壁基準耐力の記号について】

- ▽ : 端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- : 開口壁との間に柱が無い無開口壁 (開口壁として扱われる)
- : 開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁 (開口壁として扱われる)
- ◆ : 掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇ : 耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- × : 壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【壁の長さの記号について】

- ▲ : 開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

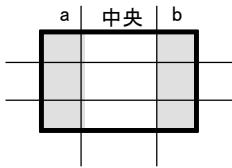
2階X方向合計 Qe	0.00
------------	------

$Qe = Qea + Qeb + Qec$

4. 開口壁の耐力明細表(2階Y方向)

日付: 2022年01月21日 9:56:07

建物コード: 000000



Y方向 梁間方向

位置 (梁間)	柱1	柱2	開口種類	壁基準 耐力 (kN/m)	壁の長さ (m)	壁の耐力 (kN)
a	10	18	窓型	× 0.00	▲ 0.75	0.00
	18	28	無開口	□ × 0.00	▲ 1.12	0.00
	-	28	窓型	× 0.00	▲ 0.75	0.00
	31	-	無開口	■ × 0.00	▲ 0.37	0.00
					合計 Qea	0.00
b	27	30	窓型	× 0.00	0.91	0.00
						合計 Qeb

【壁基準耐力の記号について】

- ▽ : 端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- : 開口壁との間に柱が無い無開口壁 (開口壁として扱われる)
- : 開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁 (開口壁として扱われる)
- ◆ : 掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇ : 耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- × : 壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【壁の長さの記号について】

- ▲ : 開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

2階Y方向合計 Qe	0.00
------------	------

$Q_e = Q_{ea} + Q_{eb} + Q_{ec}$

6. 偏心率計算表

要素名	部位別要素名	計算式	計算値
床面積 (㎡)	1階床面積	1階外周内部の面積(必要耐力用の面積と異なる場合あり)	69.56
	2階床面積	2階外周内部の面積(必要耐力用の面積と異なる場合あり)	52.17
重心座標	1階重心(X座標)	$\Sigma(\text{分割した三角形の重心X座標} \times \text{面積}) / 1\text{階床面積}$	5.56
	1階重心(Y座標)	$\Sigma(\text{分割した三角形の重心Y座標} \times \text{面積}) / 1\text{階床面積}$	3.38
	2階重心(X座標)	$\Sigma(\text{分割した三角形の重心X座標} \times \text{面積}) / 2\text{階床面積}$	5.69
	2階重心(Y座標)	$\Sigma(\text{分割した三角形の重心Y座標} \times \text{面積}) / 2\text{階床面積}$	2.73
	総合重心(X座標) ※	$\{\beta \times \Sigma(1\text{階三角形重心X座標} \times \text{面積}) + \alpha \times \Sigma(2\text{階三角形重心X座標} \times \text{面積})\} / (\beta \times 1\text{階床面積} + \alpha \times 2\text{階床面積})$	5.63
	総合重心(Y座標) ※	$\{\beta \times \Sigma(1\text{階三角形重心Y座標} \times \text{面積}) + \alpha \times \Sigma(2\text{階三角形重心Y座標} \times \text{面積})\} / (\beta \times 1\text{階床面積} + \alpha \times 2\text{階床面積})$	3.04
耐震要素 (明細-い)	耐震要素(1階X方向)	$\Sigma(1\text{階各要素X方向耐力} \times \text{要素Y座標})$	162.83
	耐震要素(1階Y方向)	$\Sigma(1\text{階各要素Y方向耐力} \times \text{要素X座標})$	284.98
	耐震要素(2階X方向)	$\Sigma(2\text{階各要素X方向耐力} \times \text{要素Y座標})$	75.46
	耐震要素(2階Y方向)	$\Sigma(2\text{階各要素Y方向耐力} \times \text{要素X座標})$	123.28
耐力 (明細-あ)	耐力(1階X方向)	$\Sigma(1\text{階各要素X方向耐力})$	50.56
	耐力(1階Y方向)	$\Sigma(1\text{階各要素Y方向耐力})$	52.75
	耐力(2階X方向)	$\Sigma(2\text{階各要素X方向耐力})$	22.91
	耐力(2階Y方向)	$\Sigma(2\text{階各要素Y方向耐力})$	22.54
剛心座標	1階剛心(X座標)	耐震要素(1階Y方向) / 耐力(1階Y方向)	5.40
	1階剛心(Y座標)	耐震要素(1階X方向) / 耐力(1階X方向)	3.22
	2階剛心(X座標)	耐震要素(2階Y方向) / 耐力(2階Y方向)	5.47
	2階剛心(Y座標)	耐震要素(2階X方向) / 耐力(2階X方向)	3.29
偏心距離 (m)	1階偏心距離(X座標)	絶対値(1階剛心(X座標) - 総合重心(X座標))	0.23
	1階偏心距離(Y座標)	絶対値(1階剛心(Y座標) - 総合重心(Y座標))	0.19
	2階偏心距離(X座標)	絶対値(2階剛心(X座標) - 2階重心(X座標))	0.23
	2階偏心距離(Y座標)	絶対値(2階剛心(Y座標) - 2階重心(Y座標))	0.56
ねじり剛性 (明細-う)	1階ねじり剛性(X方向)	$\Sigma(1\text{階各要素X方向耐力} \times (\text{要素Y座標} - 1\text{階剛心(Y座標)})^2)$	347.65
	1階ねじり剛性(Y方向)	$\Sigma(1\text{階各要素Y方向耐力} \times (\text{要素X座標} - 1\text{階剛心(X座標)})^2)$	899.68
	1階ねじり剛性合計	1階ねじり剛性(X座標) + 1階ねじり剛性(Y座標)	1247.33
	2階ねじり剛性(X方向)	$\Sigma(2\text{階各要素X方向耐力} \times (\text{要素Y座標} - 2\text{階剛心(Y座標)})^2)$	163.44
	2階ねじり剛性(Y方向)	$\Sigma(2\text{階各要素Y方向耐力} \times (\text{要素X座標} - 2\text{階剛心(X座標)})^2)$	419.94
	2階ねじり剛性合計	2階ねじり剛性(X座標) + 2階ねじり剛性(Y座標)	583.38
弾力半径	1階弾力半径(X方向)	平方根(1階ねじり剛性合計 / $\Sigma(1\text{階各要素X方向耐力})$)	4.96
	1階弾力半径(Y方向)	平方根(1階ねじり剛性合計 / $\Sigma(1\text{階各要素Y方向耐力})$)	4.86
	2階弾力半径(X方向)	平方根(2階ねじり剛性合計 / $\Sigma(2\text{階各要素X方向耐力})$)	5.04
	2階弾力半径(Y方向)	平方根(2階ねじり剛性合計 / $\Sigma(2\text{階各要素Y方向耐力})$)	5.08
偏心率	1階偏心率(X方向)	1階偏心距離(Y座標) / 1階弾力半径(X方向)	0.04
	1階偏心率(Y方向)	1階偏心距離(X座標) / 1階弾力半径(Y方向)	0.05
	2階偏心率(X方向)	2階偏心距離(Y座標) / 2階弾力半径(X方向)	0.12
	2階偏心率(Y方向)	2階偏心距離(X座標) / 2階弾力半径(Y方向)	0.05
配置による 低減係数 eKfl	1階配置低減係数(X方向)	「3. 壁の耐力明細表(係数表)」参照 床仕様: II火打ち+荒板	1.000
	1階配置低減係数(Y方向)		1.000
	2階配置低減係数(X方向)		1.000
	2階配置低減係数(Y方向)		1.000

※総合重心を求める際の係数表 >> 3. 壁の耐力明細表(係数表)参照

7. 偏心率計算表(明細)

[1階X方向]

属性	柱1	柱2	A	B	C	D	E
			Y座標	耐力 Sw	耐震要素 (耐力×座標) A*B	剛心Y座標 い/あ	ねじり剛性 $B * (A - D)^2$
壁	1	2	7.28	2.18	15.87	3.22	35.93
壁	2	3	7.28	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	4	5	7.28	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	6	-	7.28	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	7	8	7.28	6.91	50.30	3.22	113.90
壁	13	14	5.46	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	15	16	5.46	6.91	37.73	3.22	34.67
壁	16	17	5.46	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	18	19	5.46	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	19	20	5.46	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	28	29	3.64	6.91	25.15	3.22	1.21
壁	29	30	3.64	4.73	17.22	3.22	0.83
壁	30	-	3.64	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	31	32	3.64	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	-	33	3.64	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	33	34	3.64	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	34	35	3.64	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	35	-	3.64	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	-	36	3.64	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	40	41	1.82	9.10	16.56	3.22	17.83
壁	45	46	0.00	6.91	0.00	3.22	71.64
壁	47	48	0.00	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	48	49	0.00	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	51	52	0.00	0.00	0.00	3.22	0.00
壁	52	53	0.00	6.91	0.00	3.22	71.64
				50.56	162.83		347.65
				あ	い		う

7. 偏心率計算表(明細)

[1階Y方向]

属性	柱1	柱2	A	B	C	D	E
			X座標	耐力 Sw	耐震要素 (耐力×座標) A*B	剛心X座標 い/あ	ねじり剛性 $B * (A - D)^2$
壁	1	9	3.64	2.18	7.94	5.40	6.75
壁	-	3	5.46	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	5	10	7.28	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	6	11	8.19	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	8	12	10.47	6.91	72.35	5.40	177.62
壁	10	21	7.28	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	11	22	8.19	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	12	23	10.47	4.73	49.52	5.40	121.58
壁	-	15	0.91	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	18	24	3.64	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	19	25	5.01	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	20	26	6.37	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	27	35	8.19	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	29	-	0.91	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	34	-	7.28	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	28	37	0.00	2.18	0.00	5.40	63.56
壁	32	38	4.55	9.10	41.41	5.40	6.57
壁	36	39	10.47	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	37	40	0.00	0.00	0.00	5.40	0.00
壁	40	42	0.00	4.73	0.00	5.40	137.92
壁	42	45	0.00	6.91	0.00	5.40	201.49
壁	43	48	4.55	9.10	41.41	5.40	6.57
壁	44	53	10.47	6.91	72.35	5.40	177.62
				52.75	284.98		899.68
				あ	い		う

7. 偏心率計算表(明細)

[2階X方向]

属性	柱1	柱2	A	B	C	D	E
			Y座標	耐力 Sw	耐震要素 (耐力×座標) A*B	剛心Y座標 い/あ	ねじり剛性 $B * (A - D)^2$
壁	1	2	5.46	6.91	37.73	3.29	32.53
壁	2	3	5.46	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	3	4	5.46	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	4	5	5.46	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	5	6	5.46	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	-	7	5.46	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	8	9	5.46	6.91	37.73	3.29	32.53
壁	12	13	4.55	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	13	14	4.55	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	16	17	4.55	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	18	19	3.64	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	-	20	3.64	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	21	22	3.64	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	22	-	3.64	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	-	24	3.64	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	24	25	3.64	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	34	35	0.00	6.91	0.00	3.29	74.79
壁	36	37	0.00	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	37	38	0.00	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	-	40	0.00	0.00	0.00	3.29	0.00
壁	40	41	0.00	2.18	0.00	3.29	23.59
				22.91	75.46		163.44
				あ	い		う

7. 偏心率計算表(明細)

[2階Y方向]

属性	柱1	柱2	A	B	C	D	E
			X座標	耐力 Sw	耐震要素 (耐力×座標) A*B	剛心X座標 い/あ	ねじり剛性 $B * (A - D)^2$
壁	1	10	0.91	6.91	6.29	5.47	143.68
壁	3	11	3.64	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	4	12	4.55	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	7	15	8.65	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	9	17	10.47	6.91	72.35	5.47	172.75
壁	11	20	3.64	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	17	25	10.47	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	18	28	0.91	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	21	26	4.55	2.18	9.92	5.47	1.84
壁	23	29	7.51	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	25	27	10.47	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	26	32	4.55	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	29	39	7.51	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	30	33	10.47	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	31	-	0.91	0.00	0.00	5.47	0.00
壁	31	34	0.91	2.18	1.98	5.47	45.33
壁	32	37	4.55	2.18	9.92	5.47	1.84
壁	33	41	10.47	2.18	22.82	5.47	54.50
				22.54	123.28		419.94
				あ	い		う

8. 劣化度による低減係数

部位	材料、部材等	劣化事象	存在点数		劣化点数			
			築10年未満	築10年以上	部位なし	劣化あり	劣化なし	
屋根葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	②	-	2	①	
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある						
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	-	2	①	
	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	-	2	①	
外壁仕上げ	木製板・合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	④	-	4	①	
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある						
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある						
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある						
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	②	-	2	①	
バルコニー	手すり壁	木製板、合板	/	①	-	1	①	
		窯業系サイディング						こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある
		金属サイディング						変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある
	外部との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある		①		-	1	①
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	/	①	-	1	①	
内壁	一般室	内壁、窓下	2	②	-	2	①	
	浴室	タイル壁	2	②	-	2	①	
		タイル以外						水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある
床	床面	一般室	2	②	-	2	①	
		廊下	/	①	-	1	①	
	床下	基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	②	-	2	①	
合計			24			0		

劣化度による低減係数 dK

$$1 - (\text{劣化点数} / \text{存在点数}) =$$

1.00

注) 低減係数が0.7以上となった場合はその数値を、0.7未満の場合は、0.7とします。

注) 補強後の診断では、現状の低減係数が0.9未満の場合は低減係数の上限が0.9となります。

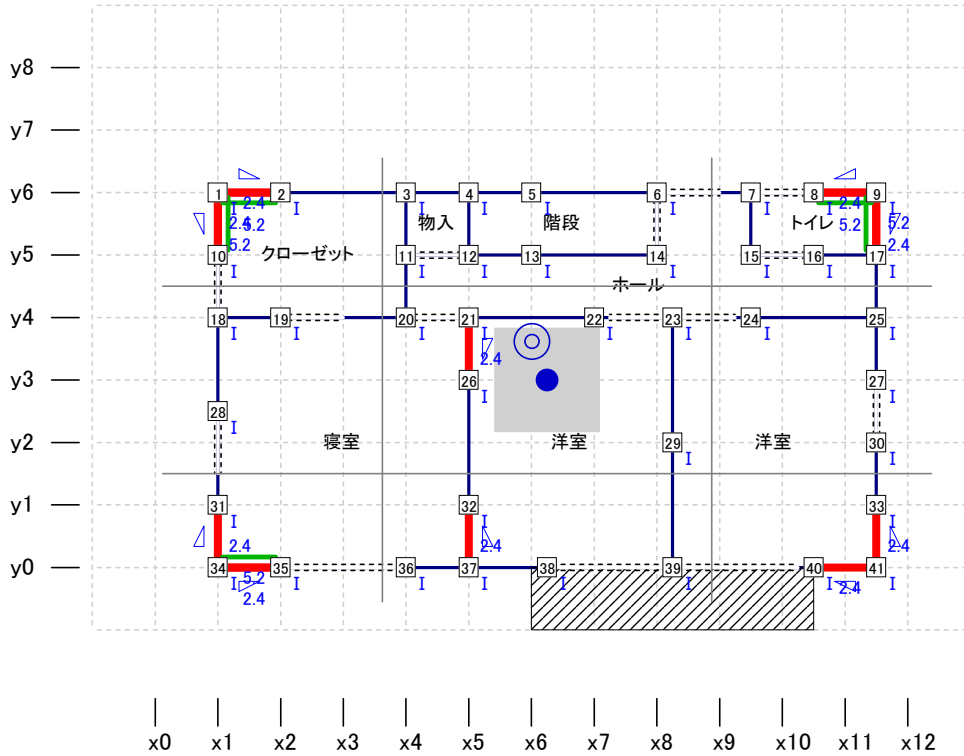
現状の低減係数が0.9以上の場合はその値が上限となります。

※劣化の種類について

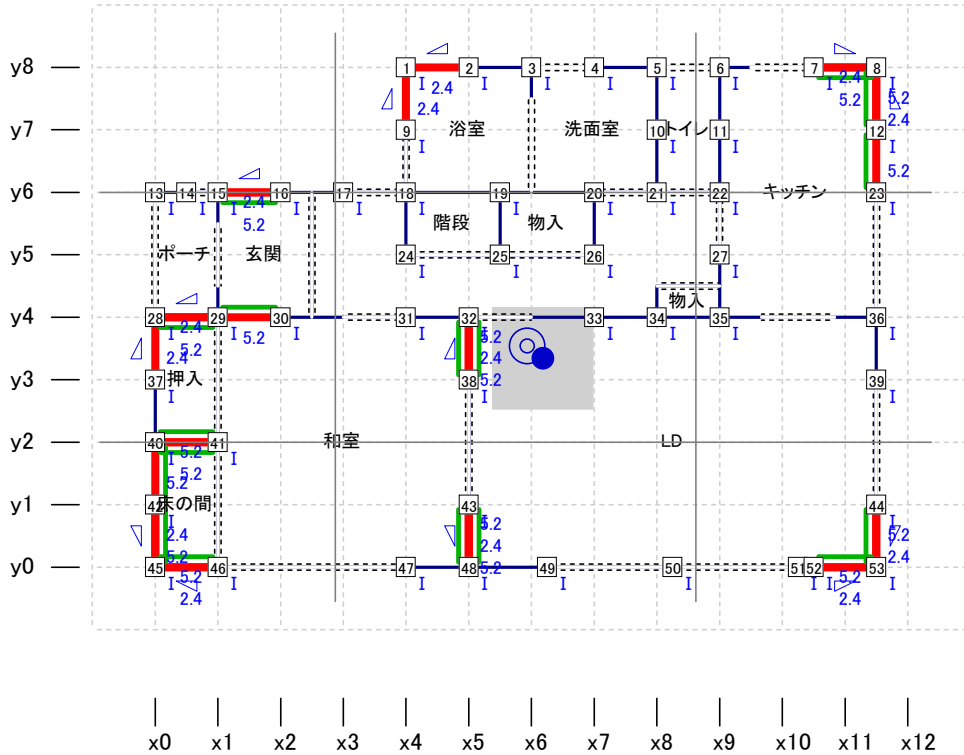
築10年未満の住宅で起きている劣化現象は、建築時の不具合による可能性が極めて高いと言えます。そのような不具合による劣化が関係するのは、上記表の「/」以外の部位にあたります。

築10年以上の住宅では、時間の経過による自然な劣化がおきてきます。このような自然の劣化には、上のすべての項目が関係してきます。ただし、築10年未満の住宅であっても、「/」以外の部位に劣化が発見された場合は、築10年以上の住宅と同様に、すべての項目について調査を行います。

2階 評点 X方向:1.09 Y方向:1.07



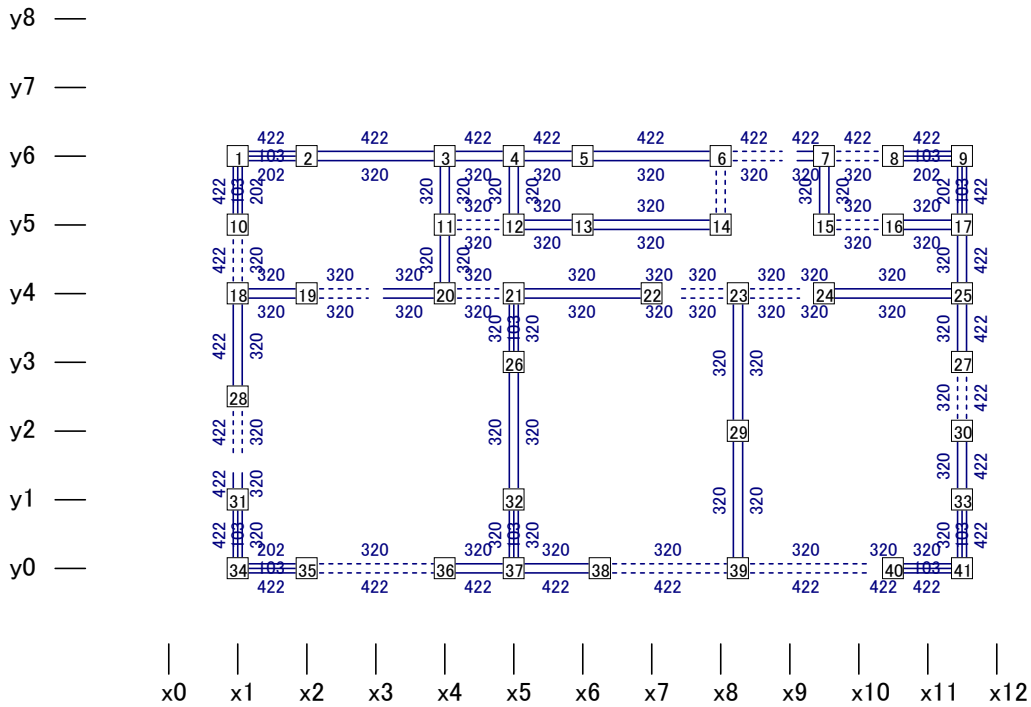
1階 評点 X方向:1.01 Y方向:1.05



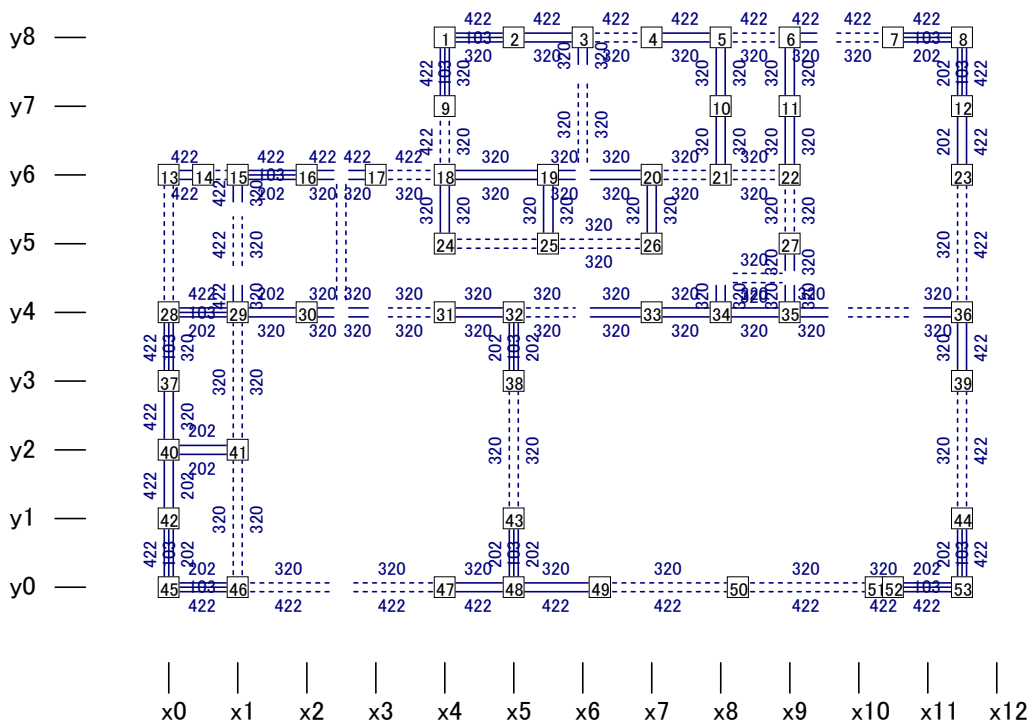
縮尺 1/110

- 凡例**
- 一般壁 - - - 開口部 ■ 耐力壁 ▨ パルコニー ▩ 小屋裏収納等 ▧ オーバーハング □ 柱 ○ 通し柱
 - 重心 ⊙ 剛心 ■ 偏心率0.15範囲(剛心が内側にあれば低減無し)
 - 現状:** ▽ 筋かいシングル ▽ 筋かいダブル — 面材耐力壁 - - - 部分入力雑壁 I II 柱接合部 I, II
 - 補強計画:** ▽ 筋かいシングル ▽ 筋かいダブル — 面材耐力壁 - - - 部分入力雑壁 I II 柱接合部 I, II ■ 補強計画追加柱

2階



1階



縮尺 1/100

※壁材種コードに「-1、-2、…」が付いている壁材種は耐力に低減・補正がかかっている(内訳は使用壁材一覧参照)

凡例

- 無開口壁(面1、軸組、面2)
- 開口壁(面1、軸組、面2)
- 柱

壁材種コード 103: 筋かい(30×90)

202: 構造用合板(大)

320: 耐力無

422: 耐力無